

二戸市環境基本計画

第7章 計画の 推進・評価

1. 計画の推進体制
2. 進行管理の仕組みと手順

1 計画の推進体制

市がめざす環境像の実現に向けて、本計画を総合的かつ計画的に推進するためには、各主体の自主的・積極的な取り組み、参加と市民協働による地域ぐるみのパートナーシップの形成が必要です。そこで、各主体の取り組みの実効性を確保していく上で、計画の進行管理が最も重要となります。

環境基本計画を推進し、点検・評価していくための組織体制は、以下に示すとおりとし、その体制のもと円滑に運営していきます

【庁内組織】

（仮称）環境推進庁内委員会

環境行政全般に関わる全庁的な調整、本計画に関わる進行管理などの総合的な調整を行います。

副市長を長とし、環境施策に関する部局の部長職によって構成します。

（仮称）環境推進庁内委員会 幹事会

本計画を効果的に推進し、進行管理するための組織として、環境施策に関する検討及び調整を行います。

環境施策に関する部局の主査級以上の職員によって構成します。

各担当課

各担当課は、本計画に基づき、各主体の連携・協力のもと、より具体的に環境施策を推進します。

また、本計画に基づく担当分野の推進状況について評価を行います。

事務局（生活環境課）

事務局は、各担当課からの報告、二戸市環境審議会からの答申を受け、二戸市環境基本条例第9条に基づく年次報告書の取りまとめ及び公表等を行います。

【庁外組織】**二戸市環境審議会**

二戸市環境基本条例第24条に基づき、環境の保全と創造に関する基本的事項・重要事項等について調査審議するとともに、本計画の進捗状況について評価し、見直し方針等を検討します。

市民、関係団体の代表者及び学識経験者によって構成します。

(仮称)環境推進委員会

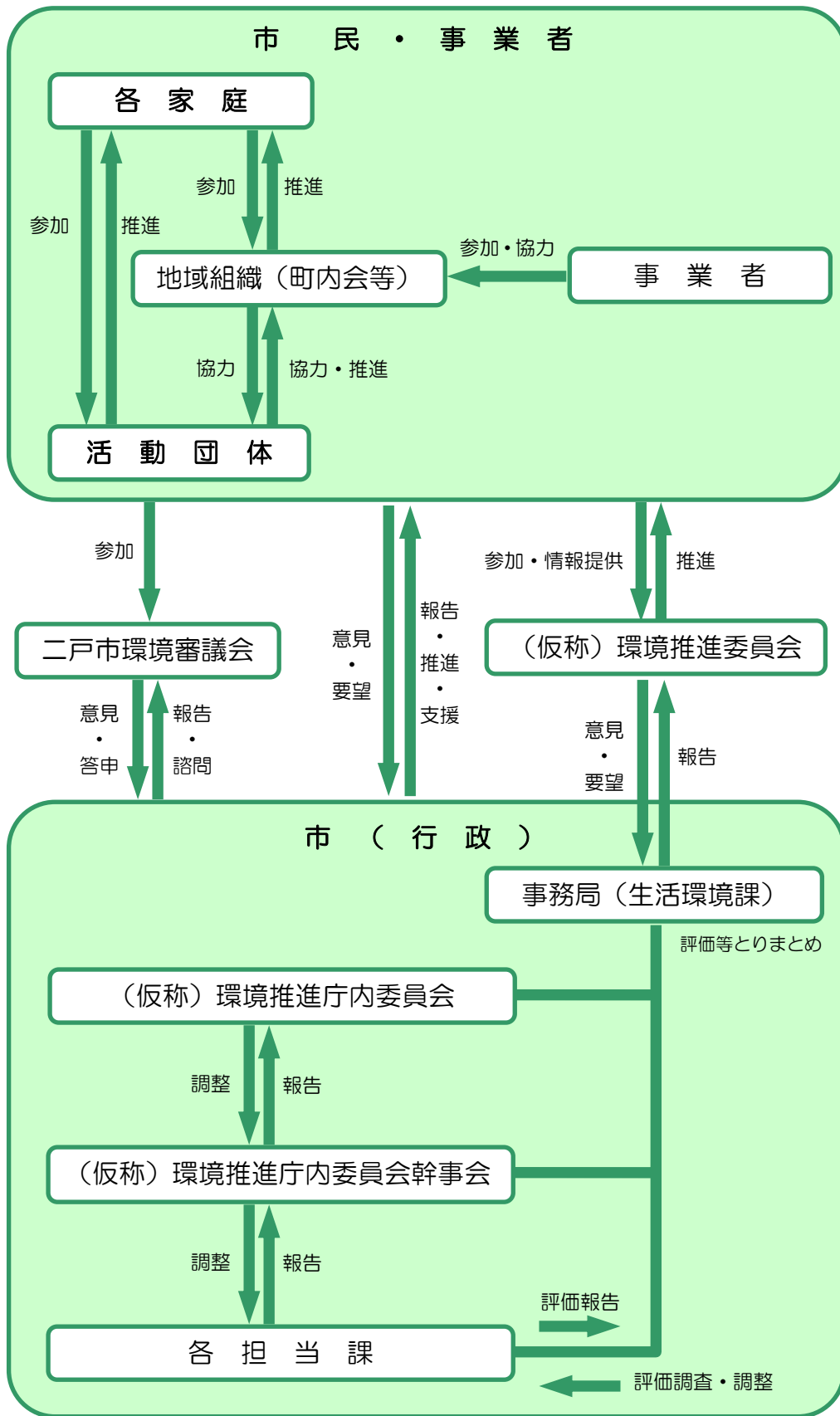
市の環境施策に関する意見聴取及び協議を行い、本計画に基づく市民・事業者の効果的な取り組みや推進方法を検討します。

市民、事業者等によって構成します。

活動団体

各活動団体は、団体が行う地域の環境に関する取り組みを推進するとともに、各主体の連携・協力のもと、より具体的に市民・事業者の取り組みを推進させるための活動を行います。

【推進体制】

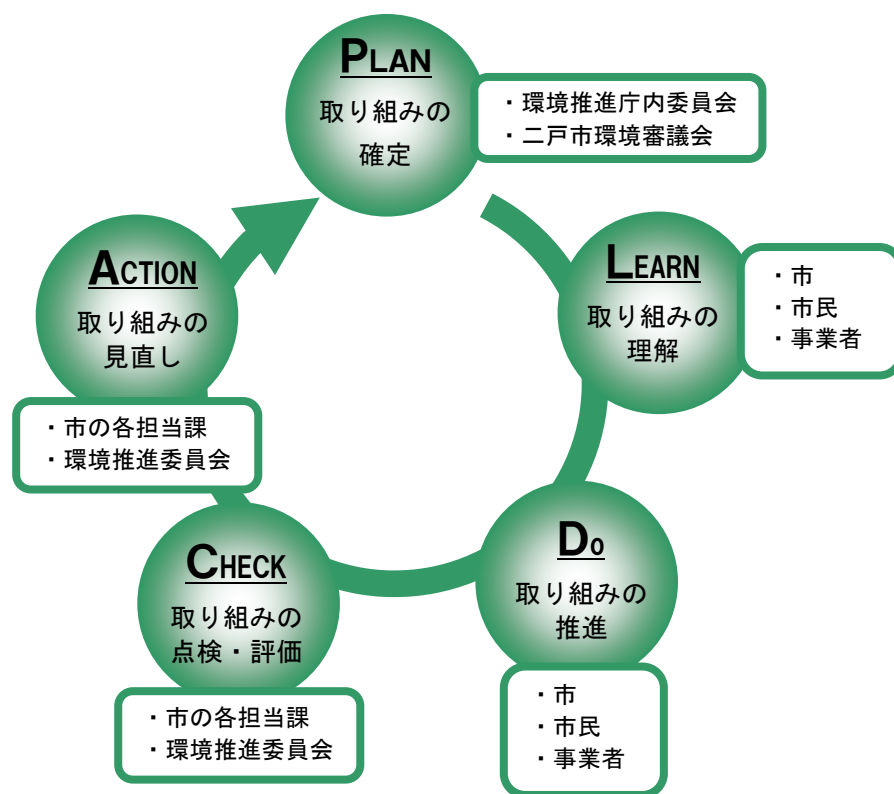


2 進行管理の仕組みと手順

本計画で定めた取り組みを着実に実践し、継続的な改善を図っていくために、以下に示す進行管理を行います。

進行管理の仕組みは、P (Plan: 計画立案)、L (Learn: 学び)、D (Do: 実践)、C (Check: 点検・評価)、A (Action: 見直し) の5つの要素によるサイクル (PLDCAサイクル) を基本とします。

進行管理は、年次報告書に基づいて毎年度行うとともに、今後の環境情勢の変化や環境に関する知見の向上、市民・事業者の価値観の変化に適切に対応するため、計画の中間段階 (概ね5年後) において計画全体に対して行います。



毎年度の見直し

【年次報告書によるPLDCAサイクル】

環境目標の達成状況及び環境施策の取組状況について取りまとめた「年次報告書」を毎年度作成し、市民・事業者に公表することにより、各主体の参加のもとで進捗状況の点検・評価と見直しを行います。



【点検手法】

環境目標の達成状況及び環境施策の取り組み状況は、環境指標を用いて定期的に点検していきます。

○環境目標1 健康で安全・快適に暮らせるまち

1. 大気環境（大気汚染、騒音、振動、悪臭）の保全

環境指標項目	目標値	点検手法	担当課
一般環境大気中の二酸化窒素の濃度	現状以下 (0.020ppm)	岩手県の測定結果に基づく値	生活環境課
一般環境大気中の浮遊粒子状物質の濃度	現状以下 (0.042mg/m ³)	岩手県の測定結果に基づく値	生活環境課

2. 水環境（水質汚濁、土壌汚染）の保全

環境指標項目	目標値	点検手法	担当課
馬淵川（府金橋）の水質（BOD）	現状以下 (0.7mg/L)	岩手県の測定結果に基づく値	生活環境課
水道普及率	90.7%	水道事業所が算定した普及率	水道事業所
汚水処理人口普及率	65.5%	下水道課、都市計画課が算定した普及率	下水道課 都市計画課

○環境目標2 豊かな自然と共生するまち

3. 自然環境（野生生物の生息、生育環境）の保全

環境指標項目	目標値	点検手法	担当課
野生生物の生息・生育状況に関する資料の作成	市内全体	資料の作成状況の確認	地域づくり推進課
新規就農者数	30人	農林課、産業振興室が集計した新規就農者数	農林課 産業振興室
森林の整備面積	276ha/年	農林課、産業振興室が集計した整備面積	農林課 産業振興室

4. 自然とのふれあう空間や景観の創出

環境指標項目	目標値	点検手法	担当課
自然観察会の開催あるいは支援	継続して実施	開催回数、支援内容の確認	生活環境課

○環境目標3 資源を大切にした循環型のまち

5. ごみの分別、減量化の推進

環境指標項目	目標値	点検手法	担当課
市民一人当たり一日のごみの排出量	900 g	二戸地区クリーンセンターで集計した搬入量に基づく値	生活環境課
リサイクル率	20 %	一般廃棄物処理実態調査に基づく値	生活環境課
マイバック持参率	60 %	「毎回」、「時々持参」する市民の割合を店舗、活動団体と協力して調査	生活環境課
エコショップいわて認定事業所の事業所数	6事業所	岩手県に登録された事業所数	生活環境課

6. 不法投棄・ポイ捨ての防止

環境指標項目	目標値	点検手法	担当課
市内一斉清掃活動の定期開催	継続実施	実施回数	生活環境課
不法投棄マップの作成・公表	実施	作成した内容及び公表の状況の確認	生活環境課
県境産廃不法投棄現場の環境再生の方法の検討	環境再生実施	環境再生事業の進捗状況の確認	生活環境課

○環境目標4 身近な環境から地球環境の保全に取り組むまち

7. 環境都市づくりへの取り組み

環境指標項目	目標値	点検手法	担当課
公共施設への新エネルギー（太陽光発電等）導入	2箇所	新エネルギーの導入数	行革推進課
エコファーマー認定者数	270人	岩手県に認定された数	農林課 産業振興室
森林の整備面積（再掲）	276 ha/年	農林課、産業振興室が集計した整備面積	農林課 産業振興室

○環境目標5 みんなで学び ふるさとを守る輪が広がるまち

8. 環境教育・環境学習の推進

環境指標項目	目標値	点検手法	担当課
学校等の環境をテーマにした取り組みの公開	年2回	実施回数	教育委員会
各地域の資源や環境課題を広報に掲載	継続掲載	広報への掲載回数	生活環境課
エコショップいわて認定事業所の事業所数（再掲）	6事業所	岩手県に登録された事業所数	生活環境課

9. 環境活動の推進

環境指標項目	目標値	点検手法	担当課
浄法寺地区等の宝マップの作成、案内板の設置	作成・設置	設置された数	地域づくり推進課